

コミュニティ音楽活動における図形楽譜に関する研究

【代表者】

沼田里衣 大阪市立大学 都市研究プラザ・テニユアトラック 特任准教授

【共同研究者】

上野智子 和歌山大学 教育学部 准教授

菅道子 和歌山大学 教育学部 教授

山崎由可里 和歌山大学 教育学部 教授

【研究概要（申請書より抜粋）】

本研究は、障害のあるなしに関わらない異年齢を対象としたコミュニティ創成プロジェクトにおいて、即興演奏とその演奏のための図形楽譜の可能性について、ワークショップを実施し、その成果を音楽教育領域において発表することを目的とする。

本研究の発端は、昨年度に共同研究として実施した、学齢期以降の障害者を対象とした異年齢プログラムにおけるインクルーシブな音楽活動の開発に関する研究（「即興演奏を用いた障害者の社会参加に関する研究」）の成果によるものである。当研究においては、即興音楽を用いたコミュニティ活動における研究と、特別支援学校における音楽プログラム開発の研究を融合させ、特に図形楽譜を用いた即興演奏の可能性をワークショップにおいて探った。当研究では、図形楽譜という視覚的要素を取り入れた即興演奏の方法を共同開発した結果、技術や価値観の差異によらずに音楽活動への参加を可能にすることが見出された。こうした成果から、本年度は引き続きワークショップで検証を行うとともに、その成果を音楽療法と音楽教育の理論をベースとし、事例報告とともに音楽教育の国際誌 *Music Education research*（インパクトファクター0.458）に投稿することを目的とする。